



姉妹都市 ドイツ・アウクスブルク市

交流の記念品

尼崎市役所中館・北館を結ぶ2階渡り廊下と南館1階に姉妹都市、友好都市から贈られた記念品が100点近く陳列されています。日本で最初にドイツとの姉妹都市提携を結んだのは尼崎市。昭和34(1959)年4月、アウクスブルク市との提携で、60年近くが経ちます。今回は、同市から贈られた記念品のごく一部をご紹介します。



尼崎市役所2階渡り廊下の陳列ケース

Memorabilia of City Exchange



皿

錫製。直径24.0cm。1991年7月、尼崎市国際交流協会市民団のアウクスブルク市派遣記念に受領。



ジョッキ

錫製。直径10.0cm×高さ14.5cm。1991年9月、尼崎市青年使節団のアウクスブルク市派遣記念に受領。

繊細なレリーフの入った錫製品は、ドイツバイエルン地方の代表的な土産物です。



アウクスブルク市役所庁舎陶製模型

高さ12.0cm。2003年4月、アウクスブルク市代表団の来尼記念。庁舎はドイツルネサンス建築の最高傑作ともいわれます。



プッペンキステ操り人形

同市に本拠地を置くプッペンキステ人形劇団のTV番組は、ドイツ国内で非常に有名で人気があります。

(左)2007年10月、独日協会訪問団の来尼記念。向かって右の人形が持っているのは、地元サッカーチームFCアウクスブルクのユニホームとボール。

(右)ウルメルという名のドラゴン。長さ50.0cm。2009年10月、プッペンキステ人形劇団の来尼記念。



事務局から

パンフレットをリニューアルしました

尼崎市国際交流協会が設立されたのは1979年、ドイツ・アウクスブルク市と姉妹都市提携を結んで20年を経た年でした。来年は設立40年目、人間で言えば不惑の年。これは数え年ですから、まさに今年が協会の不惑の年ということになります。そこで、というわけでもないのですが、長年使っていた

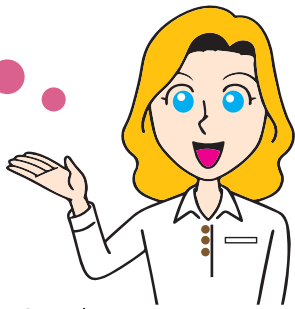
パンフレットを刷新しました。この機会に協会の現在のありようを見なおす機会にもなり、また、会員の増強にも努めるためです。パンフレットを使って、協会のPRをしてやろうという方はぜひ事務局までご連絡ください。とりあえず1000部印刷していますが、何度も増刷することを心待ちにしています。

日本語スピーチコンテスト

Japanese Speech Contest

2018年2月17日(土) 13:00 ~ 15:30

..... 園田学園女子大学



「日本語スピーチコンテスト」は、尼崎市国際交流協会が市内大学と協力して、毎年開催しています。日本で活動している外国人にスピーチを通して日頃の日本語学習の成果を披露して頂きます。コンテストの後 16:00 ~ 17:00 には交流会を予定しています。参加費無料ですのでぜひご来場ください。

■コンテストの部

対象は日本語が母国語ではなく、日本に在住して5年以内の方。発表は5分以内で、内容に①「日本に来て気づいたこと、感じたことを自国と比較する」または②「日本での体験や日本語を生かして、将来どのように活躍したいか」のいずれかを含めること。最優秀賞(2万円)、優秀賞(1万円)ほか。

■自由発表の部

対象は日本語が母国語ではない方。発表は3分以内で、テーマは自由。特別賞、参加賞。

▶申し込み

2017年12月12日(火) 15:00までに、「出場申込書」と「原稿」を郵便か e-mail で尼崎市国際交流協会事務局にお送りください。
*政治・宗教などの個人の思想信条を発表することはできません。
*申込者多数の場合、事前選考させていただきます。

出場者募集

We are looking for paid volunteers for translation and interpretation

翻訳・通訳 有償ボランティア募集

詳しくは、協会公式ホームページをご覧ください
どうか、事務局にお問い合わせ下さい。

尼崎ゆかりの
国際人



英会話講座受講生
シデナム祥子さん

1995年に家族で渡英し暮らしていましたが、昨年7月、父の介護のためほぼ20年ぶりで単身、尼崎に戻りました。日本で知り合った夫はイギリス人なのですが、結婚後数年で英国へ移住するとは予想外で、しかも当時は私自身が環境の変化にすぐに適応できず、向こうの生活に慣れるまで5年以上かかりました。二人の息子の子育てと職場での経験を通して持った個人的な英国の印象は「階級社会だが差別は少ない」「古いものや伝統を大事にし、新しいものや流行に飛びつかない国民性」「人々は一般に保守的だが、一方で奇抜なユーモアを愛する面もある」でしょうか。昨今は外国人に対して閉鎖的な態度を取りつつある英国ですが、幸いに私の場合、家族でとても国際色豊かな環境にいたので、そこで

20年ぶりにイギリスから尼崎へ移住



知り合った、たくさんの人々と多種多様な文化を分かち合い尊重し合えた経験は、私の価値観を大きく変えた点で貴重なものになっています。

帰国後は英語力、特に会話力を維持することが課題の一つになりましたが、勧められてAIAの「英会話講座」を受講し始めてから、ネイティブの先生やクラスメートと英語で話す機会が持てるようになって嬉しいです。皆で和気藹々、色んな話題で盛り上がるのも楽しいですし、英語以外にも新しい発見がたくさんあるクラスです。